

平成 17 年 3 月吉日

日本糖尿病学会
会員各位

理事長 春日雅人

糖尿病総合対策事業への取り組みについて

近年のわが国における糖尿病患者数の増加には著しいものがあります。この急増を防ぐために、様々な試みがなされております。例えば、国民運動である「健康日本 21」において、糖尿病は数値目標が設定されている 9 分野のひとつであり、日本各地において様々な取り組みがなされているにもかかわらず、十分な成果が未だ見られていないのが実情であります。

このような状況を鑑み、平成 16 年度の学術評議員会におきまして、理事会からの提言として「日本糖尿病学会として何らかの行動を起こす必要があるのではないか」ということを申し述べさせていただき、御了解を頂きました。理事会ではこの 1 年間具体的な実行計画を立案するべく検討を続け、「対糖尿病戦略 5 カ年計画」作成委員会（委員長 門脇 孝理事）、日本人における糖尿病のデータベース構築委員会（委員長 小林 正常務理事）、「健康日本 21」糖尿病対策検討委員会（委員長 伊藤千賀子監事）の 3 つの委員会を立ち上げました。現在、「対糖尿病戦略 5 カ年計画」と「糖尿病のデータベース構築計画」の案はほぼ出来上がり、近々学会ホームページに掲載し、会員からの御意見を頂く予定です。

「健康日本 21」糖尿病対策検討委員会の活動としては、「健康日本 21」をはじめ各種の糖尿病対策を推進するために、日本医師会、日本糖尿病協会と協力し「糖尿病対策推進会議」を発足させました。本年 2 月 9 日には日本医師会大講堂にて各団体からの代表者また厚生労働省からも関係担当官らが出席し設立総会が開催されました。この糖尿病対策推進会議は、全国的な組織をもつ日本医師会の機動力を軸に、日本糖尿病学会の専門医と日本糖尿病協会の医師・コメディカルスタッフからなる各地域の担当者が協力・連携しながら具体的な糖尿病対策を実行していくものです。なお、当学会の地域担当者は「糖尿病」第 48 巻 1 号に発表致しました。

日本糖尿病学会は昭和 33 年に、糖尿病学の進歩・発展を図り、もって国民の災害を防止することを目的として任意団体として設立されました。昭和 60 年 1 月には、更なる強力な学会活動を遂行するために社団法人として生まれ変わりました。そして今、設立 50 周年を間近に控え、これまでの学会が積み上げて来た学術活動の業績を礎として、新たな展開・発展のために「糖尿病総合対策事業」に取り組んでいきたいと考えます。

糖尿病患者の激増という厳しい現実と日々向い合っておられる会員各位におかれましては、この事業に賛同し、ご協力いただきますようお願い申し上げます。